



界の嘘不感症はもっと深刻です。はなはだしくは、「うそは残る商売」だという人が出るほどです。根拠もないそれを並べて、ひどい世論の反発にぶつかれば「慎重に検討する」という言い方で切り抜けることは無責任な政治家たちが使う典型的な手法です。

**どうして、ここまで来たのでしょうか** 東亜日報パク・チェギョンさんは、根本的な理由はうそを恐れない社会風土のためだと指摘して、西欧社会では他人に「うそつき」(Liar)と言ったら死にそうになることを覚悟しなければならないのに、韓国の人々には「うそつき」に関連した悪口さえないと言いました。むしろ、うそがあきらかにされても「慎重に検討して」と言うくらいです。はなはだしくは、成果が出れば、うそも目をつぶってここまで来ました。そのようにして「うそは残る商売」という自らの落とし穴にはまってしまったのです。私たちは1974年アメリカのウォーター・ゲート事件でニクソン大統領が辞任したことも、ジョージ・ブッシュ大統領の共和党政府がイラク戦争の開戦の名分にした大量殺人兵器の不在事実が現われたあと、支持率が急落したうその高い対価をはっきり見ました。リンカーンは「すべての人をしばらくの間は、だますことはできる。また何人かをずっとだまし続けることもできる。しかし、すべての人をずっとだまし続けることはできない」と言いました。

**うその元祖** しかし、うその元祖は別にいるという事実を知っているのでしょうか。神様のみことばである聖書を見れば、美しくて賢い姿に創造されていたのに、墮落して追い出された天使の話が出ます。「あなたの心は自分の美しさに高ぶり、その輝きのために自分の知恵を腐らせた。そこで、わたしはあなたを地に投げ出し、王たちの前に見せものとした。」(エゼキエル書 28:17) この墮落した天使が、まさにいつわりの父であるサタンです(ヨハネの福音書 8:44)。この地に追い出されたサタンは、神様と人間を仲たがいさせる巧妙な情報を流してアダムとエバをだましました。エバが神様を疑って、神様との約束を破ってしまうようにうそを並べました。神様はアダムとエバに善悪の知識の木の果の約束をおし

やりながら「それを取って食べる時、あなたは必ず死ぬ。」(創世記 2:17)でおっしゃったのですが、サタンは「あなたがたは決して死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知ようになることを神は知っているのです。」(創世記 3:4-5)とだましました。結局、アダムとエバはサタンのうそにだまされて、約束を破って神様を離れるようになりました。そのときから、うそによる人間の混乱と苦しみは始まったのです。歳月が過ぎるほど、科学も知識も教育も発展するのに、世の中はますますいつわりが横行する混乱の中に落ち込んで行っているのです。

**「あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと願っているのです。悪魔は初めから人殺しであり、真理に立ってはいません。彼のうちには真理がないからです。彼が偽りを言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです。」**(ヨハネの福音書 8:44)

**どうすればよいのでしょうか** 人間は、いつわりの元祖であるサタンの権威に勝つことができないから、神様はこの問題を解決するためにイエス・キリストをこの世に送ってくださいました。イエス・キリストは、神様に会う道になりました(ヨハネの福音書 14:6)。すべての罪と呪い、運命から解放される道になりました(ローマ人への手紙 8:2)。サタン(悪魔)のしわざを打ちこわして、その手につかまって奴隷のようになっている者たちを解放する道になりました(ヨハネの手紙第一 3:8、ヘブル人への手紙 2:14-15)。だれでもイエス・キリストを信じて受け入れるとき、神様の子どもになります。ただちにサタンの手から解放されて、霊的問題から来るいつわりの人生の呪いから解放される生活を送るようになるのです。いつわりは、決して真実に勝つことはできません。

**「主イエスを信じれば救われます。  
あなたは大事な人です」**



# いったい福音とは なんですか？

**創造の原理** だれがなんと言っても、魚は水の中で生きるといのちがあって、鳥は空を飛ぶと自由で、木は地に根をおろすと実を結ぶように、私たち人生も神様とともにいる創造の原理に従って生きて行くときだけが幸せであるというのが人間の元々の姿です。霊的な存在として造られた人間が、神様を離れた瞬間、水を離れた魚のように喉が乾いてあがくようになり、鳥かごに閉じこめられた鳥のように人生が息苦しくて、根が抜かれた木のように実もなく、時がたつと枯れていくしかない六つの人生の呪いを避けることができなくなりました。

**人間が解決することができない根本問題** 成功の後に訪れてくるむなしさと繰り返す非理性的な問題、生きて行くほどやって来る不安と恐れ、一番理性的で科学的な人間が、いわしの頭にお辞儀をして、木や動物、石に仕えておふだに頼り、車にステッカーを貼って安全を期待する愚かさ、生活の便利さと関係なく襲われるうつ病と精神問題、ますます増えて行く性犯罪と悪い犯罪の繰り返し、増えて行く病気と崩れて行く肉体の健康と人間関係、未来に対する不安と、結局、行かなければならない死と地獄という永遠な苦痛と刑罰の恐怖、ここにすべてがまた繰り返されるしかない不幸を子孫に伝えるのです。ないと言うことも、私はそうではないと拒否することもできないでしょう。

**神様の人間愛** このように人間が話すことができない苦痛の中で迷っているとき、神様は人間に向けて最高の愛と思いやりを準備してくださいました。「神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。」(ヨハネの手紙第一 4:9)、「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネの福音書 3:16)、「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。」(ローマ人への手紙 5:8) 神様に会う道である真の預言者として、罪の問題を解決した真の祭司として、サタンの権威を打ち破った真の王としてこの世にイエス・キリストを送ってくださいました。イエス、キリストの十字架での死と復活の事件は、人間が解決することができない問題を一気に解決してしまった事件でした。それで、だれでもイエス・キリストを受け入れる人々、すなわちその名を信じる人々は、運命の呪いから永遠に解放されて神様の子どもになる権威をくださると約束されました。これがまさに人間を向けた神様の贈り物であり愛です。「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。」(エペソ人への手紙 2:8) だれでもイエス・キリストの御名を呼ぶ者は救われるようになるのです。これが福音です。

## 神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の父なる神様。  
私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。  
しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してくださったキリストであると信じます。いま、私の中に入れて来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。  
イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

## 神様の子どもの 毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

# 簡単な答え、 良い答え、 真の答え



イラスト\_キム・ジョン

入試の時期が近づいて、多くの受験生が緊張し、家族たちはいらだつ時になった。努力しただけの成果が出るのだが、それでも期待するのは大きいことしかないのが人間の姿だ。

多様な問題に正確な答えを記録するときに出る点数を通じて個人の現在値が出るようになり、未来を開いて行くのに試験はいつも負担になるが、またチャンスになる曲がり角でもある。

ここで簡単な答えが出る算数問題一つを出してみる。もし近くにペンがあれば、ちょっと気晴らしにやってみたら良いだろう。まずそれぞれ違う三桁の数を3つ書いてみよう。そして、書いた数の順序を逆に書いてみよう。二つの数の中で大きいほうの数から小さな数を引いてみよう。そして出た答えに、その答えを逆に書いた数をそれぞれ合わせれば、多分、答えはすべて1,089が出るだろう。これは、どんな数を適用しても答えは等しい。もし、198が出たら、その数をまた逆に書いて(891)加えれば、答えは同じだ。これは算数の原理が適用された問題で、いつも同じ答えが出る不思議な簡単な答えだ。

答えが分かっている人は、その人が問題を解く前にもう答えが分かっている。実力で答えが分からなければならないのに、普通、現実で恐ろしさを感じる人々は、簡単に、それもあらかじめ答えを分かろうと、正確でもない結果を確信あるように言う占い師を頼ったりする。人間のあせる心が人生を誤って、未来をもっと不透明にさせる。それだけではなく、その後で攻撃する暗やみの問題を見逃したから、小さな問題で答えを得るところか、もっと苦しい過程を通らなければならない。人生を生きてみた人々が聞かせる人生経験は、それゆえ場合によって尊いものになって、必要な人々には良い答えになるのだ。

しかし、人生にやってくる問題は目に見える生活

だけがあるのではなくて、人生の価値をすべてささげても悟ることができない問題が多い。その場合をすべて生きてみて良い答えを与える人がいたら幸いだが、その答えを与えることができるすべての霊的問題の解決者は地球上にはない。必ず問題があったら答えがあるはずなのに、難しく見える算数の数式にも簡単な答えがあって、人生の生活にも経験を通しての良い答えがあるのに、どうして人生の問題は霊的な答えが出ないのだろうか。

結局、人間自らでは霊的な答えを作り上げることができないという結論に至ってしまう。宗教は慰めになる立派なことだが、人間には答えにならないということだ。哲学は人間の内面を照らす光になることができるが、未来を明らかにする燈台になることはできないという結論だ。人間の崇高さで積む功勞と善行は、自分の罪を隠して、むしろ足りないだけだ。

それなら、人間以外のなにかで、人間のためのなにかがなければならないという結論が出るのだが、それが聖書を通じて人間に知らされた福音だ。人間の罪に対する神様の解決策だから、考えではなく信仰でその事実を受け入れなければならない。人間の足りないことが分かるので値段を計算したいが、救いの価値は値段を払って買うことができないから、それを恵みと言う。あらかじめ答えが分かって問題を出す試験官のように、私たちが解くことができない霊的問題を持って、それはただ問題であるだけで、本当の答えはいつも簡単で良い答えとして存在しているが、その答えはいつもキリストなのだ。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

\* 相談したい方はこちらまでどうぞ